

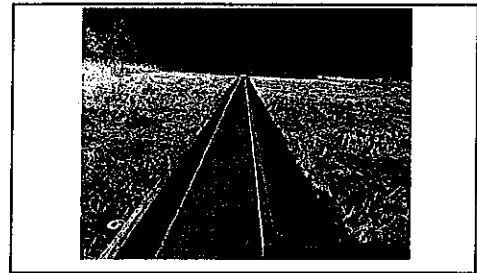
平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	親海湿原木道改修事業
事業主体 (連絡先)	白馬村 0261-85-0722
事業区分	主となる区分 (5) 観光保全及び景観形成事業 関連する区分 (6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード事業
総事業費	7,441,200円 (うち支援金: 1,852,000円)

事業内容

【木道整備】

半恒久的な木道とするため、床板の擬木を図った。  
 貴重な植生を保護するため、植物の最盛期を過ぎた  
 11月の中旬から工事を行った。



【 竣工写真 】

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

【目標・ねらい】

総延長371.19mのうち193.79mの擬木化が完了した。  
 床板を擬木化することで、耐久性と安全性が確保できた。  
 観光客の踏み抜きによる怪我の心配が無くなり、安全に  
 観賞して頂けるようになり、かつ補修に要する経費の削減が図られた。(修繕費用を20万円  
 以下にとどめることができた。)

- 施設の耐久性向上
- 来場者の安全確保
- より良い景観の形成

※2 自己評価 (事業効果) 【 A 】

今後の取り組み

今年度はL=48.20mの工事を行った。全ての木道を擬木化するには残り177.4m残っている。  
 木道残部分は老朽化が進行しており、来場者の安全が完全に確保されていない状態である。  
 来場者の安全確保と、より良い景観の形成を図り来場者の増加を図るため、来年度以降も継続的  
 な改修を実施し、木道総延長371.19m全て擬木化を図りたい。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。  
 ※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。  
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた  
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある